

What's KON-TANANT OAMI?

コテナ おおあみ
KON-TANANT OAMI

2011年6月、登米市迫町の大網（おおあみ）地区に空き倉庫を改築し、コープラティブオフィスとしてスタート。

- ・起業支援
- ・プライダル
- ・エコライフ開発
- ・ライフサポート
- ・手仕事支援

など、多種にわたるプロジェクトを（有）コテナおおあみ、（特活）とめタウンネット、（特活）ハピふるWeddingなどの事業体で展開。

震災直後は、自家発電による携帯電話充電や隣接する仮設住宅への支援物資のお届けなどの活動を地元の方やボランティアのみなさんと実施しました。



Our mission is SAZAHOZA

次の3つを目標とする地域資源を活かした復興支援PJ

- ・ 被災地での女性の仕事づくり
- ・ 東北の暮らしの知恵の発信
- ・ 宮城の「食」を伝える



手しごと

コンテナおおあみ
&とめタウンネット@登米
コミュニティビジネスの創業支援を行
う有限会社。
「編んだもんだら」の企画・運営
製作拠点づくり

食

コミュニティカフェ「うれしいや」@仙台
「編んだもんだら」の販売
登米・南三陸の食を発信
※2018年4月からは登米に移転

情報

変わりゆく被災地の今を「編んだもんだら」をツールとしてfacebook等を通じ、
全国に発信

さざほざのミッション

【暮らしを見つめる、見直す】

震災によって失われた生活を、どのような形で再建していくのか、関係機関の情報、動きをキャッチしながら、生活再建に向けて地域のまとめ役となるべく女性リーダーを育成する。

日本人が、自分たちの暮らしを支えるエネルギー、経済活動などの基盤のあり方を見直すきっかけを作る。

さざほざのめざすこと

- 被災地の復旧、再生、復興のプロセスを、地域に暮らす人の視点で具現化させる。
- 具現化させるためのエンパワメントのために、手仕事を通じて経済活動を実践する。
- 東北の暮らしの知恵を次世代、他地域に伝え、相互扶助の精神を養うきっかけとなる商品づくりに取り組む。

TE-SHIGOTO Project

被災地からのビジネスを創出

コンテナ おおあみ
KONTEINA OOHAMI



【手仕事プロジェクト】

コンテナおおあみが窓口となり、被災女性たちの手仕事を企画、作り手へ部材の調達、配達、商品の集荷、全国へ販売をしている。
単なる内職にとどまらず、高齢化が進む作り手たちの常日頃の見守りをも担う。

【編んだもんだら】

オリジナルデザインのアクリルエコたわしを県内4地域(大島、寄木、中瀬町、南方)の被災女性チームで制作。(商標登録済み)

【amaプロジェクト】

フランス文学の翻訳家、コラムリストの村上香住子がプロデュースするハンドメイド作品を津山、平磯、戸倉に暮らす被災した女性たちが制作。

「編んだもんだら」とは

アクリル100%の毛糸で編んだ編みぐるみのようなたわし

【商品の種類】

めかぶ、ウニ等の南三陸名産の「海のもの」をモチーフとしたオリジナル商品と企業等から委託される受託品の2種類

【デザイン】

受託品は受託者とオリジナル商品は作り手と相談しながら「さざぼさ」プロジェクトの足立プロデューサーがデザインし、試作品を作り、数回の検討後に決定

【製作】

2011年～2012年 = 歌津寄木、志津川中瀬（南三陸町）、南方（登米市）の仮設住宅、気仙沼市大島（自宅避難）の4拠点、いずれも50代以上の女性、各4～5名（4拠点合計20名程度）が担当。



商品開発もお母さん達と・・・



全国のみなさんが販売支援



- 左上 呉のイベントで
- 左下 加古川のイベントで
- 右上 芦屋のリサイクルブティックで

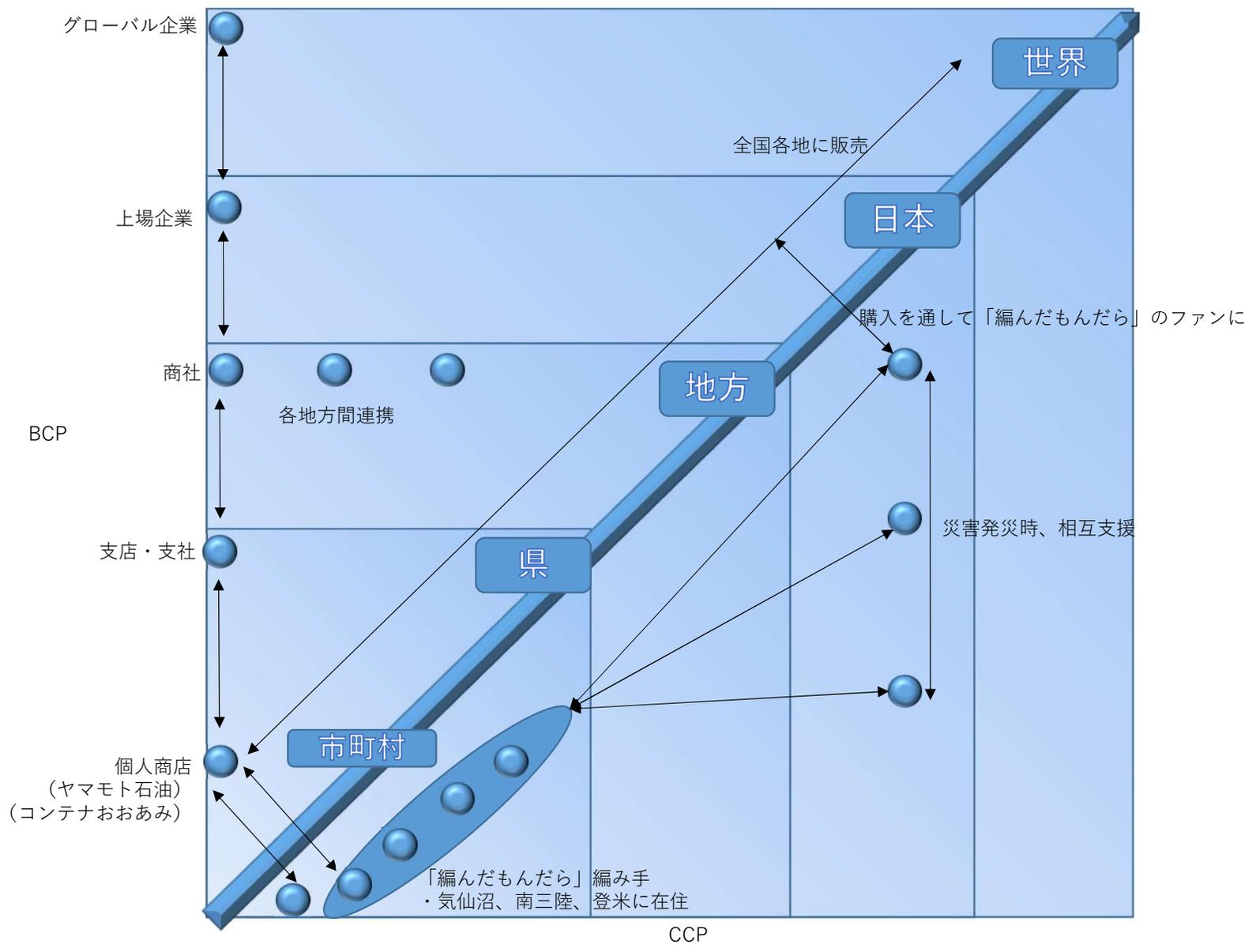
毛糸が繋ぐご縁 その1



札幌、大阪で開催しているニットカフェ@編んだもんだらの参加者が編んだモチーフを、熊本へ！
熊本では、編んぶれらグリッパーや、シュシュのパーツに使用。
シュシュはネパールへ！！！！

連携の形





世界

日本

地方

県

市町村

全国各地に販売

購入を通して「編んだもんだら」のファンに

各地方間連携

災害発災時、相互支援

「編んだもんだら」編み手
・気仙沼、南三陸、登米に在住

BCP

CCP